法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		・子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 ・社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 ・地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。			
営業時間		10 時 0 分 19 時 0 分 まで	送迎実施の有無	あり なし	
		支援内容			
支援方法		個別課題		集団·小集団課題	
本人支援	健康・生活	生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 食具、筆記具等生活で使用する物の練習 食具、筆記具等生活で使用する物の練習	清潔への理解と習慣のための清掃活動(ぞうきんの使用、ほうきの掃き方、ロッカーやカバンの中の整理等) 健康的な生活を送るための基本的生活習慣・良いルーティンを知る活動 教室に慣れ、安心して通うためのスケジュールの理解と流れに合わせた活動		
	運動·感覚	指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題 視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題	模倣や体幹、粗大運動	指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動(平均台等)	
	認知•行動	見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等) 物の概念(長さ・大きさ等)の獲得に関わる課題	空間把握の認知形成に関わる活動(パズル、ブロック遊び等) 物の概念(長さ・大きさ)の理解に関わる活動(どっちが大きいかな?、長さ比べ等) 物の上位概念理解を促す活動(仲間分け)		
	言語・コミュニケーション	人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わりの課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題	意思表示の言語と選択	文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた等) 意思表示の言語と選択のための活動(はい・いいえ・どちらでもない等) ロ頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャー、絵カード等)	
	人間関係・社会性	集団への参加や集団での指示理解のための課題 社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 集団生活におけるマナーに関する課題	集団の中での順番、エ	社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 複数の利用者同士の適切な関わりの理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)	
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした 内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応し ていることを家庭でも取り組めるように共有していく。 保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関 する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。	移行支援	本事業所以外でも同様に取り組めるように支援の方法を共有する。 今できるようになっておきたい事、将来できるようになりたいことを整理し、行っている当 事業所での支援内容を園や他事業所と情報共有し、同じ目標のもと支援を行えるように する。	
地域支援·地域連携		園での課題を確認したうえで、それに合わせた本事業所での対応を他機関に連携することで、 実践的な支援に繋げる。 今できるようになっておきたい事、将来できるようになりたいことを整理し、行っている当事業所 での支援内容を園や他事業所と情報共有し、それぞれの担う具体的な役割を再度認識し、同 じ目標のもと支援を行えるようにする。	職員の質の向上	経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。	
	主な行事等	避難訓練(火事、地震、水害等)、調理活動(フルーツポンチ)、保護者会、その他			